

# 花ごよみ 8月

2024年  
7月28日  
258号

発行：公財)東京動物園協会 井の頭自然文化園

8月7日は立秋。残暑のなか、秋の七草が咲き始めます。ハギ、ススキ、クズ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、キキョウ…園内で七草めぐりはいかがでしょう？



A

## ヤマハギ (萩)

万葉集で山上憶良が詠んだ秋の七草の歌は、「萩の花」ではじまります。葉柄の先に3枚の葉をつけますが、これはマメ科植物に多い特徴です。ヤマハギは葉の先が丸く、また花房が葉より長く伸び、花が目立ちます。



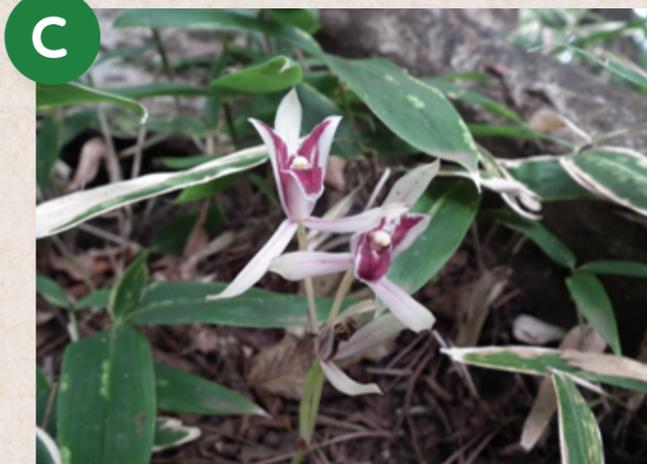
ヤマハギの葉



B

## タカサゴユリ (高砂百合)

台湾原産のユリで、日本固有種のテッポウユリの仲間になります。「タカサゴ」は台湾の古称「高砂」に由来します。



C

## マヤラン (摩耶蘭)

ランの仲間で、名前は最初に発見された場所(摩耶山)にちなみます。根や葉をもたず、地下茎に共生する菌類から栄養をえて育ちます。

## 花木



① サルスベリ



② シマサルスベリ



③ タマアジサイ

## 秋の七草



● カワラナデシコ (撫子)



● オミナエシ (女郎花)



● フジバカマ (藤袴)



● タカハノススキ (芒)



● キキョウ (桔梗)



クズ (葛) の葉

● 山野草園で  
ご覧いただけるもの



最新号や過去の「花ごよみ」をスマートフォンでご覧になりたい方は、右のQRコードより公式HP、「東京ズーネット」にアクセスしてください。

